

『理科教室』2006. 5月号に書いたものです。

ばねがあれば、プラスチックコップ4個と普通のハサミでとても簡単に作れるようになりました。

## カラオケマイク

愛知物理サークル 飯田 洋治

<http://homepage3.nifty.com/yoiidea/>

最近、子どもたちと「カラオケマイク」を作りました。完成すると、歌っているのか叫んでいるのかわからないほどの大はしゃぎ。親子科学イベントなどでも作りましたが、エコーがかかるので子どもたちに大人気です。「今夜は家族でカラオケ大会をぜひ開こうね」といって、いつも別れます。この「カラオケマイク」は、以前<sup>\*</sup>は両端のプラコップをペットボトルで支えていました。そのためペットボトルを集めるのが大変でしたし、プラスチック用ハサミで切るのもかなり面倒でした。ところ



がこれをやめ、プラコップで支えると、見違えるように工作が楽になりました。これなら、紙用ハサミを使って、小さな子どもでも楽々作れます。ばねはホームセンターで買っていいですが、自分でも作れます。ぜひ作って楽しんで下さい。

#### 【用意するもの】

プラコップ 4 個, ばね 1 本(長さ 3cm),

釘または千枚通し, ハサミ, セロテープ

ばねは、電話帳で「スプリング」を引き、近くの工場で作ってもらうとよい。太さ 0.5mm, ばね径 1cm, 長さ 60cm(3~400 円)を 3cm に切ると多く出来る。

#### 【作り方】

図の(1)~(4)にそって作って下さい。

参考 <sup>\*</sup> 愛知・岐阜・三重物理サークル編著:『いきいき物理わくわく実験改訂版2』日本評論社p14